

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 三和支所						
	作成責任者	水谷 由紀						
	事業名	特産品活用による三和地域活性化事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交流推進費	会計 一般会計	事業コード 130216	決算付属資料 84	頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する				
	開始年度	平成23年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	特産品活用による三和地域活性化事業補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	三和地域の特産品開発と生産出荷体制の組織化確立を行い、農林商工業の活性化を図ることを目的として、地域の特産品の直販施設を基本とした地域活性化計画の企画立案を検討するため「丹波みわ活性化協議会」が実証実験を実施し、データ収集と分析を行う。				
	対象者	三和地域の市民	対象者数	3,381	単位あたりコスト	1.3
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	丹波みわ活性化協議会				
	事業概要	地域活性化計画の企画立案を検討するため、給食センター建設予定跡地でのテントによる直販店舗を開設し、実証実験を実施している「丹波みわ活性化協議会」に活動調査費、特産品研究費等を助成する。				
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
	負担金補助及び交付金	「丹波みわ活性化協議会」に対する活動助成			439	
関連事業	-					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	500	450	439	0	0
	②補正予算	90	2,417	0	0	
	③流充用額			0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	590	2,867	439	0	0
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.29/0	0.6 / 0	0.5 / 0	/ 0		
⑤概算人件費	2,320	4,800	4,000	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,910	7,667	4,439	0		
⑦執行額	590	2,867	439			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%			

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	直販所来客数	人	750/1,000	1,330/3,000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	登録農家数	戸	63/80	70/80	70/80	/	80
	活性化協議会開催回数	件	26 / 20	14/ 20	17/ 20	/	20
	単位あたりコスト		22.7	204.8	25.8		
	直販所開設回数	回	12/12	32/35	65/24	/	120
	単位あたりコスト		49.2	89.6	6.8		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域特産品の直販所開設を構想した産業振興を図るための活動に対する補助事業である。 ・市民公募によって組織された団体が実施主体であり、市との連携により進めている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・補助金額が限られている中で、農産物の店舗販売等による手数料収入を事業活動費の一部に充当させている等の工夫をしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・補助金は、農産物の店舗直販の実証実験の経費及び地域活性化に結びつく特産品の開発研究に活用されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	加工用トマトの生産者がある程度確保でき、特産品としてのトマトジュースの一定量の生産に結びつけることができている。平成28年11月から丹波みわ活性化協議会が行っている店舗販売の実証実験について、原則として給食センター建設予定跡地において継続して実施し、今後の同予定地での特産品直販施設を検討するための参考資料となるデータを収集した。		
今後の課題及び方向性	事業主体であった「丹波みわ活性化協議会」の活動目的である給食センター建設予定跡地での特産品販売施設の建設構想について、(株)さとうによるスーパーマーケット展開における農産物販売コーナーの併設という方向性が出たことで、一定の整理がなされた。これにより、補助事業は平成30年度を以て最終とし、今後「丹波みわ活性化協議会」は三和地域の活性化に向けて、農産加工品を含む特産品生産と販売について新たな検討を進める。			

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	所見	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 三和支所						
	作成責任者	水谷 由紀						
	事業名	地域農業者ネットワークづくり事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交流推進費	会計 一般会計	事業コード 130228	決算付属資料 84	頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する				
	開始年度	平成30年度						
	終了予定年度	令和3年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げる。				
	対象者	三和地域の市民	対象者数	3,381	単位あたりコスト	2.7
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	-				
	事業概要	三和地域の基盤産業である農林業の振興による活性化を図るため、「地域おこし協力隊員」を募集し、協力隊員を任用した。 「地域おこし協力隊員」は、都市地域から過疎地域等に移住し、一定期間(平成30年8月1日から令和3年7月31日までの3年間)、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援、農林業への支援、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図るものである。 「地域おこし協力隊員」のミッションとして、「三和地域の農家(農業者)を元気にする」掲げ、目的を達成するために、「新規農産物等の販売機会数を増やす」ことを戦略として、大阪の商店街での販売、販売機会への農家の登録、農業者のネットワーク、新規農業者の支援、特産物や商品の開発と商品化などを戦術として実行する。 行政の役割は、地域と「地域おこし協力隊員」の間を取り持つ調整役として隊員を支えることである。隊員の取り組み状況については、毎日の日誌の内容を確認することで、コミュニケーションをとり、アドバイスや情報交換を行っている。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費	
		報酬、報償費	地域協力隊員報酬、福知山市三和町市有地活用事業に係る外部有識者意見聴取等謝礼		1,620	
旅費		出張及び現場への交通費等		100		
需用費、役務費		覚書締結に係る証書ファイル(消耗品)、自動車損害賠償保険料		189		
使用料及び賃借料		自動車損害賠償保険料		186		
備品購入費		地域おこし協力隊員パソコン		135		
関連事業	-					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			2,564	3,042	3,184
		②補正予算			0		
		③流充用額			67		
		④繰越額計			0	0	0
	繰越	前年度繰越		0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源			2,631	3,042	3,184
		国支出金			0	0	0
		府支出金			0	0	0
		地方債			0	0	0
		その他特財			0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		/	0.8 / 0	0.8 / 0	
⑤概算人件費				6,400	6,400		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				9,031	9,442		
⑦執行額				2,230			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				84.8%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		新規農産物等販売機会数	回/年	-	-	0	/ 2	5回/年(12月)
		販売機会への登録農家数	戸	-	-	0	/ 10	40戸(累積)
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		団体等との協議等	回/年	-	-	50/50	/ 50	50回/年(12月)
		単位あたりコスト		-	-	44.6	/	
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域おこし協力隊員の外部からの視点による自由な発想と、制約のある行政職とは違った柔軟で可動域の広いフットワークにより、新しい農業振興の方法を想起することができる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・新しいアイデアや都市部との交流の深化等により、農業を基幹的産業とする三和地域、さらには市の農業が振興し、全体的な経済的効果が期待できる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・農産物の生産量の低下という現実的な課題の把握と克服に向けた考察を行い、販路拡大や流通の強化に向けて取り組んでいる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>地域おこし協力隊員は地域に積極的に入り込み、会議への出席や現場で農業の実地体験を行うなど農家との良好な関係を構築するとともに、三和地域の農業団体、農業生産組織、主要な農家と連携して、地域の農業の最新の現状、課題を把握し、農業振興による地域の活性化をめざして活動している。その成果は短期間で現れるものではないが、今後の協力隊員の取組について期待しており、行政も連携を継続していく。</p> <p>平成30年度は、三和町友洲地域と大阪市都島区友洲町とでつくるすこやか友洲交流会の活性化及び新規の農産物等の販売機会を増やす目的のため、大阪市都島区のまちづくりセンター・蕪村と連携しながら、蕪村通り商店街の店舗を利用し、三和地域の地域紹介や農産物等の販売すること及び農産物等を出荷してもらうため、農家への働きかけと調整を行っている。</p>			
今後の課題及び方向性	<p>高齢化する農家の後継者不足や農業生産組織の弱体化の中での農業関係者との協力体制と農林産物の年間を通した安定的な確保、販路開拓に向けた市場の開拓及び顧客の確保等、三和地域においては、人口減少と高齢化が進む中、農業従事者の高齢化と減少、後継者不足及び農業意欲の減退がますます進行している。この状態を回復できるよう、また新規就農者の支援等、三和地域の農業（農業者）を元気づけることが喫緊の課題である。</p> <p>三和地域におけるJAへの出荷を除く、販売機会は、現在すこやか友洲交流会、夕焼け市、JA野菜市（JAとしては令和元年6月末で終了）の3つとなっているが、組織の高齢化等で弱体化していることもあり、販売は不振である。そのため、農業者ネットワークづくり、新しい農業ビジネスの確立及び工夫をこらした販路開拓などにより販売機会を増やしていく。</p> <p>地域おこし協力隊員は、衰退していく三和地域の農業・農業者を元気にしていくことをミッションにし、農業を継続できる環境を整えるため、販売機会の増加を成果実績としている。農業を継続できる環境を整えるためには、農業意欲の向上や農業者の情報交換のネットワークを構築していくことが重要である。隊員が、団体や個人との協議など直接対話により販売機会への登録農家数を増やしていくよう、行政は必要な支援を行う。</p> <p>行政の役割は、地域と「地域おこし協力隊員」の間を取り持つ調整役として隊員を支えることである。農業者ネットワークを構築できるようしていくため、毎日の日誌の内容を確認しながら、コミュニケーションをとり、アドバイスや情報交換を行っている。</p> <p>アウトカム指標については、衰退していく三和地域の農業・農業者が少いことはあるが、確実に前進できる販路拡大を数値指標としている。</p> <p>地域おこし協力隊推進の趣旨（総務省）にあるように、隊員には、農業の応援など地域協力活動に従事してもらいながら、当該地域への定住・定着を図る取組について、地域おこし協力隊員が意欲的・積極的に取り組むことができるよう、行政は必要な支援を行う。</p>			

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容や成果など、評価シートの記載内容を充実させ市民に解り易くすること ○事業目的を具体的に設定し、合わせて成果実績についても事業による効果が図れる指標とすること ○地域おこし協力隊の現在の活動を支援し、販路拡大に加え水平展開にも取り組んでいただきたい ○アウトカム指標が解り難い。再検討を行うこと ○隊員個人の活動だけではなく、組織として継続するよう担当課として制度の構築を行ってください。 	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況（対H31）</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 夜久野支所					
	作成責任者	衣川 正彦					
	事業名	みつまた活用調査研究事業					
	会計情報	款	項	目	会計	事業コード	決算付属資料
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する		
	開始年度	平成29年度(2017)					
	終了予定年度	平成29年度(2017)					
	関連計画等	-					
	根拠法令等	-					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	夜久野町畑(今里)住民が「みつまた(三極)特産研究会」を立ち上げ「みつまた」の特産化を図るための取り組みを進めている。この取り組みを地域経済の活性化施策とするため、行政として各関係機関(京都府、JA等)との連絡調整、調査協力を進める。					
	対象者	夜久野町畑住民	対象者数	222	単位あたりコスト	1.8	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	「みつまた(三極)特産研究会」					
	事業概要	「みつまた(三極)特産研究会」との協議・対応					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R1要求額	
	配当予算	①当初		46	0	0	
		②補正予算		0	0		
		③流充用額	0		0		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源		46	0	0	0
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
	その他特財			0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0/0	0.09 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0		
⑤概算人件費		720	400	400			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		766	400	400			
⑦執行額		32					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		69.6%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		組織体制の確立	件	0/0	1/1	/0	/	1
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		視察研修		0/0	1/1	/0	/	1
		単位あたりコスト			32.0	0.0		
			0/0	0/0	/	/	0	
	単位あたりコスト		-	-	0.0			

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地元雇用を促進し、地域の産業となる事業であり、行政の支援として各関係機関(京都府、JA等)との連絡調整、調査協力が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	平成29年度で庁内PTは終了し、現在、みつまた特産研究会の課題である組織体制づくりの協力を行う。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	現状で出来ることを継続し、今里地区からエリアを拡大し、みつまた特産研究会の組織体制づくりが重要課題である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		独立行政法人銀行券部中国みつまた調達所へ視察研修を行い、国立印刷局へ納入するスキームは理解できた。作業工程が大変であり、技術の修得には最低でも2～3年はかかり継続的に実施していくためには組織の確立が最優先課題である。	
今後の課題及び方向性		みつまた特産研究会が現在できることを続けていき、併せて組織体制づくりを行う中で、人的面や資金面を含め組織の再構築に取り組み、技術習得や販路拡大を進めていく必要がある。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	6次産業推進事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 210206	決算付属資料 178	頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名 農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する					
	開始年度	平成25年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	福知山市6次産業推進事業補助金交付要領						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農産物に付加価値を付ける6次産業化、農商工連携を支援することにより新たな加工組織の掘り起こしと地場産農産物の知名度向上と販路拡大を促進する。				
	対象者	農家数	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.0
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	伴走講師: マルチプロデュースオフィスプラス 岡本英志				
	事業概要	農産物加工に意欲を持つ市内農業者又はその農業者と連携する事業者を募集し、買い手市場を知る講師による定期的な伴走支援を実施することで、自分の強みを活かしたターゲットの設定、農産物の加工方法、パッケージの作成まで支援を実施する。 また、製品完成した事業者に対しては、対象経費の50%を上限10万円にて補助金を交付することで開発経費負担の軽減を図り、意欲を向上させ、取組みを促進する。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費
報償費		講師謝礼			378	
旅費		職員旅費			32	
負担金補助及び交付金		補助金			54	
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	2,317	2,254	1,127	0
	②補正予算			0	
	③流充用額	△ 43	0	△ 217	
	④繰越額計	0	0	0	0
前年度繰越		0	0		0
		0	0		0
財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	2,274	1,354	910	0
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	900	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.0 / 0	0.15 / 0	0.37 / 0	/	
⑤概算人件費	0	1,200	2,960		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,274	3,454	3,870		
⑦執行額	1,736	1,166	464		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	76.3%	51.7%	51.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		6次産業推進事業補助金利用件数	件	-/-	2/1	1/5	/	5
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		6次産業への取組事業者	件	-/-	3/2	7/5	/	5
単位あたりコスト			0.0	388.7	66.3			
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

	項目	評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 地域産商品開発については、社会ニーズが高く必要性があるものの、農業者が自ら実施することは難しい内容である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 伴走支援であったことから大きなコストをかけずにすすめることで効率性はあったが、農業者は繁忙期にはセミナー等への参加ができないため工夫が必要である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 農商工連携以外の6次産業化については、農業に主軸をおいていることから、農業者にとって優先順位が低い。また、農業は繁忙期と閑散期の差が大きく、更には豊作や裏作などもあり、製品開発には複数年度による取組みが有効であることが確認された。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山産業支援センターへの農業関係の相談が多いことから、平成31年度からは「福知山市産業支援事業」に統合し、相談からセミナーの受講や商談会までの一連の流れをつくり、支援体制の強化を図る	
今後の課題及び方向性	農林業振興課でも類似の制度（稼げる農業応援事業）があり、更なる連携を図る。		

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	二次評価（庁内評価）
三次評価（外部評価）	所見

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	農林業振興課に類似支援策あり統合。
	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 夜久野支所												
	作成責任者	衣川 正彦												
	事業名	丹波漆伝承サポート事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	210254	決算付属資料	86	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成28年度(2016)												
	終了予定年度	平成30年度(2018)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市地域おこし協力隊員設置要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	夜久野地域は古くから丹波漆の主要な生産地であり、今日も丹波の漆掻きの技術が「京都府指定無形民俗文化財」として伝承されているが、担い手不足が課題となっている。都市地域から、「地域おこし協力隊員」として漆関係者を受け入れ、地域での丹波漆の基礎づくりを強化し、漆の生産拡大や漆掻き職人の後継者育成、丹波漆のブランド化への取り組みを行う。また、夜久野地域への定住・定着を図りながら地域の活性化につなげる。												
	対象者	地域おこし協力隊	対象者数	1	単位あたりコスト	3,228.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し(特別交付金)、平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間、やくの木と漆の館の嘱託職員として1名を委嘱する。 活動内容としては、夜久野地域において漆の植栽・植栽地の管理・漆掻き・丹波漆のPR等の活動を行う「NPO法人丹波漆」と連携し同活動を行うとともに、「やくの木と漆の館」の業務を行う。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		使用料及び賃借料	地域おこし協力隊員の居住に係る建物賃貸借料										360	
使用料及び賃借料		軽自動車1台										194		
需用費		公用車燃料代										67		
旅費		丹波うるし作品展(京都市内) ほか										66		
役務費	地域おこし協力隊員の公用車損害保険料										16			
関連事業	やくの木と漆の館事業													

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	3,298	750	700	0	
	②補正予算	244	0	0		
	③流充用額			3		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越			0	0	0	
			0	0	0	
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	3,542	750	703	0	0
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.16/0.60	0.1 / 0.8	0.05 / 0.85			
⑤概算人件費	2,780	2,800	2,525	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,322	3,550	3,228	0		
⑦執行額	3,139	746	703			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	88.6%	99.5%	100.0%			

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	地域への定住者	人	1 / 1	1 / 1
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	制度利用者数	人	1/1	1/1	1/1	/	1
	単位あたりコスト		3139.0	746.0	703.0		
	漆の植栽及び植栽地の管理	人	0.3/0.3	0.6/0.6	1.0/1.0	/	1
単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	丹波漆については、福知山市のブランドになりうる可能性があり、NPO法人丹波漆と連携し、この事業を成長させる必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在の規模においては、漆掻きのみで生計がなりたない。意欲ある者を市の職員として雇用し、木と漆の館の事業も行うことで効率性は高まる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	文化庁は、国宝や重要文化財の修理に係る漆を国産漆に切り替える方針であり、需要は十分にある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>目標どおり意欲のある「地域おこし協力隊員」を1人雇用でき、夜久野に移住している。NPO法人丹波漆と連携し、漆の植栽・植栽地の管理、漆掻き、小学生や漆に興味のある人を対象とした植栽地での漆体験の活動を行い、後継者育成が進んでいる。また、木と漆の館においては、商品の漆器制作、漆器体験教室補助、漆器企画展でのPR活動等を行っている。</p> <p>地域おこし協力隊員の3年目自立にむけての支援を行い、その活動の定住につなげる必要がある。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>地域おこし協力隊として委嘱期間が、平成31年3月までとなるため、自立にむけての支援が必要である。</p> <p>NPO法人丹波漆とともに、期間終了後の地域おこし協力隊員の移住定住にむけた就労について検討していく。</p>			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課											
	作成責任者	芦田 直也											
	事業名	農業生産組織等指導強化事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210217-2	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府北部7市町の生産者と事業者が一堂に会する場を提供し、マッチングによる生産者への販路開拓支援を行うことで、生産者の販路拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る					
	対象者	農家数	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	Food collabo lobo 実行委員会					
	事業概要	京都府北部7市町の生産者と事業者が一堂に会する場を提供し、マッチングによる生産者への販路開拓支援を行うことで、生産者の販路拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る生産者と事業者によるフリー商談会を主体とした「Food collabo lobo2018」を開催 ※農林業振興課所管の「農業生産組織等指導強化事業」のうち「Food collabo lobo2018」に係る経費のみを農林業振興課から産業観光課へ執行委任					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費			
	負担金及び交付金	Food collabo lobo2018 開催負担金	118				
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初			119	117	118
	②補正予算			0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計			0	0	0
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源			60	117	118
	国支出金			59	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	0	
	その他特財			0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)		/	0.05 / 0	0.05 / 0	
	⑤概算人件費			400	400	
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			519	517	
	⑦執行額			118		
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			99.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		成約件数	件			3/30	/ 30	30
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数(生産者)	件			31/30	/ 30	30
		単位あたりコスト				3.8		
		参加者数(事業者)	件			33/50	/ 50	50
単位あたりコスト				3.6				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	普段出会う機会の少ない生産者と事業者がマッチングする機会が創出できるため、必要性はあると考える。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	7市町合同で実施するため、本市の費用負担が軽減できるとともにスケールメリットを活かした商談会が開催できる。また、実行委員会に金融機関も入っているため、金融機関を通して効率的に事業者へ周知が行える。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	7市町合同で一次製品の生産者と飲食業等の事業者が一堂に会する場として、生産者を上回る事業者が参加し、当商談会での商談成立実績もある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市町単独では費用面や参加者確保の問題で開催は難しいが、7市町合同によるスケールメリットを活かした開催であり、効率的に開催ができています。 また、出展生産者の販路先である事業者の参加が目標に届かなかった。出展生産者の販路拡大に向けて参加事業者の確保も必要である。	
今後の課題及び方向性		当商談会での商談成立実績もできていることから、よりイベントの魅力発信や広報を工夫し、出展生産者、参加事業所を確保する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	当商談会での商談成立実績もできていることから、よりイベントの魅力発信や広報を工夫する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課						
	作成責任者	大西 誠樹						
	事業名	里の駅みたく管理事業						
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業総務費	会計 一般会計	事業コード 220311	決算付属資料 166	頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名 農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する					
	開始年度	平成18(2006)年度						
	終了予定年度	令和2(2020)年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	福知山市里の駅みたく条例						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境に育まれた地域資源を活用し、高齢者がいきいきとした活動をし、持続的な地域コミュニティの形成や地域の活性化を図る。					
	対象者	三岳地域住民	対象者数	503	単位あたりコスト	3.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	三岳高齢者活動促進施設運営委員会					
	事業概要	里の駅みたくにおいて指定管理者を選定し、民間ノウハウの活用により効率的かつ効果的に施設の管理運営を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)			具体的な内容		H30経費	
		役員費	建物総合共済基金分担金、浄化槽土砂撤去業務		145		
委託料		福知山市里の駅みたく指定管理料		392			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	403	582	453	601	660
	②補正予算	12	0	0	0	
	③流充用額			84	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	415	582	537	601	358
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	302
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.31/0	0.29 / 0	0.14 / 0	0.14 / 0		
⑤概算人件費	2,480	2,320	1,120	1,120		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,895	2,902	1,657	1,721		
⑦執行額	414	552	537	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.8%	94.8%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設利用者	人	16,700/21,000	14,425/21,000	11,993/21,000	/ 21,000	21,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設開館日数	日	310 / 311	311 / 311	313 / 311	/ 311	311
	単位あたりコスト		1.3	1.8	1.7			
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	三岳地域の高齢者のいきいきとした活動を支援する施設であり、指定管理施設として市が取り組む必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	施設の維持管理に必要な最低限の予算で施設運営に取り組んでいるため、コスト削減は厳しい現状である。令和2年3月末をもって指定管理期間が満了となるため、より効率的な運営方法について検討する必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	新鮮な地場野菜、加工品や地域の特産品を販売することにより、農産物生産意欲の向上と地元高齢者の雇用に大きな役割を担っている。しかし、施設利用者数や売上は年々減少しており、成果目標の達成には至っていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定管理者は地域の高齢者で構成される団体であり、過疎・高齢化が進む中コミュニティが形成されており、地域振興を図ることができている。		
今後の課題及び方向性	令和元年度をもって、現在の指定管理者の指定期間が満了するため、以降の施設のあり方や管理方法について地元と協議する必要がある。道路事情等の変化により利用者数は減少しており、より効果的なPR方法の検討や更なる地産地消の推進等、時代のニーズに応じた事業展開が必要である。			

	所見
庁内及び外部による評価 (二次評価) (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) (棚卸し評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p>令和元年度で指定管理を終了し、令和2年度以降は地元で施設を貸付け、地域のコミュニティ活動の活性化と地域の魅力の発信を軸に運営する。</p> <p>施設の効果的なアピール手法等の検討について、地元、観光地域づくりセンターならびに産業観光課と連携する。</p> <p>【H29棚卸による見直し状況】</p> <p>施設の効果的なアピール手法について、観光地域づくりセンターと指定管理者との間で継続的に協議を行っている。協議内容としては、令和元年度に店舗内販売だけでなく近隣イベントへの出張販売等の新たな販路開拓の方策を検討している。</p>
	<p>予算への反映 【財政担当課記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課					
	作成責任者	中島 美香					
	事業名	担い手確保・経営強化支援事業(国補正2号)					
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業振興費	会計 一般会計	事業コード 210210	決算付属資料 頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する			
	開始年度	平成30年度					
	終了予定年度	平成30年度					
	関連計画等	-					
	根拠法令等	担い手確保・経営強化支援事業実施要綱					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域の担い手が経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援し、担い手の確保・育成と農地の集積を図る				
	対象者	認定農業者・認定就農者等	対象者数	2	単位あたりコスト	1,150.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	認定農業者等・認定就農者等				
	事業概要	付加価値額の拡大などの経営発展に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を活用して機械等の導入等を行う際に、融資額を除いた自己負担部分について助成を行う。				
	主な経費と 具体的な内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
		負担金補助及び交付金	トラクターの導入支援	1,400(繰越)		
"		フロントローダー、パイプハウスの導入支援	1,737(繰越)			
関連事業	京の水田農業確立支援事業、京野菜生産加速化事業、ふくちの農場づくり事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初		0	0	0	
	②補正予算		3,137			
	③流充用額					
	④繰越額計			△ 3,137	3,137	0
	前年度繰越			3,137		
	次年度繰越		△ 3,137			
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	一般財源			0	0	0
	国支出金				3,137	
	府支出金					
	地方債					
	その他特財					
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.25 / 0.12	0.25 / 0.12		
⑤概算人件費			2,300	2,300		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			2,300	5,437		
⑦執行額			0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
				/	/	0 / 2	/	2
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

		単位あたりコスト				
		項目	評価	評価に対する説明		
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		○	担い手の確保・育成のためには、農業用機械等の導入に対する支援が必要である		
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		○			
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		○			
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		○	補助率は同類の他事業の比較して妥当な水準である		
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか		○			
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		○			
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか		○	導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している		
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		○			
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		○			
目的及び指標等の達成状況に対する評価		農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができ、農業振興に有効な事業である【定性的評価】				
今後の課題及び方向性		農業用機械等の導入は担い手の大きな負担になっている 高性能機械の導入を支援することにより生産性の向上と担い手の経営改善が期待でき、今後も継続して行う必要がある				

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)	○単年度として有効に実施された ○担い手にとっては有利な事業であるので、今後も同様の事業があれば有効に活用されたい	

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	現段階で国における事業実施がないため休止
	予算への反映 【財政担当課記入】)	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	京野菜生産加速化事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210215	決算付属資料	166	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	京野菜生産加速化事業実施要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	パイプハウス等を導入し、京野菜の産地規模の拡大に寄与するとともに農業経営の安定に資する												
	対象者	総農家数	対象者数	3,915	単位あたりコスト	3.8								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	福知山ハウス部会ほか												
	事業概要	ブランド京野菜の産地拡大を図る組織や新規就農者のパイプハウス、資材等導入助成												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
		需用費	消耗品費						10					
負担金補助及び交付金		京野菜生産拡大等に係る補助						12,222						
関連事業	京の水田農業確立支援事業、担い手確保・経営強化支援事業、ふくちの農場づくり事業													

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	10,500	7,560	12,090	11,291	29,585				
	②補正予算			1,088						
	③流充用額	△ 4,098	0							
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	前年度繰越									
	次年度繰越									
	一般財源	0	840	947	11,291	990				
	国支出金	0	0							
	府支出金	6,402	6,720	12,021		28,595				
	地方債	0	0							
	その他特財	0	0	210						
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	京野菜生産加速化事業		種類	府補助金	実績金額	12,021	決算付属資料	24	頁
	特財名称	京野菜生産加速化事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	210	決算付属資料	38	頁
人件費	0.25/0	0.22 / 0	0.21 / 0	0.21 / 0						
⑤概算人件費	2,000	1,760	1,680	1,680						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	8,402	9,320	14,858	12,971						
⑦執行額	5,673	7,437	12,232							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	88.6%	98.4%	92.8%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
		万願寺とうがらしの販売額	百万円	106 / 100	125 / 120	146 / 140	/	150
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標	
	施設園芸(パイプハウス増棟数)	棟	3 / 15	6 / 15	8 / 15	/	15	
	単位あたりコスト		1891.0	1239.5	1529.0			
	万願寺とうがらしの生産量	t	185 / 190	223 / 210	182 / 240	/	240	
単位あたりコスト		30.7	33.3	67.2				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	計画的なパイプハウス等導入による栽培面積の拡大を図り、農家経営の安定と京野菜を中心とした特産物の進行を図るため必要である
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	パイプハウス導入により雨天時の収穫及び周年栽培も可能となり、省力化によるコスト削減、栽培の効率性からも有効である
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	施設栽培(パイプハウス等導入)による京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜の供給を図るために有効である
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	パイプハウスは毎年一定数の導入があり、今後も安定した導入数が見込まれる。特に万願寺とうがらし販売額は年々着実に伸びている		
今後の課題及び方向性	将来的に高齢化や後継者不足による栽培面積の縮小が懸念されるが、今後もブランド京野菜の需要は大いに期待でき担い手や新規就農者参入の推進を図ることにより産地拡大を目指す		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・京都府と連携し、適正な事務執行を行う。 【H29棚卸による見直し状況】 特用林産事業を別事業(「スーツのまち福知山」事業)とした。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	農業生産組織等指導強化事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210217	決算付属資料	166・168	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事業費補助金交付要領、農業生産組織等指導強化事業補助金交付要領												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	生産組織や担い手組織等の育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る												
	対象者	総農家数	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.5								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	福知山農業経営者会議、福知山市地域農業再生協議会ほか												
	事業概要	生産組織や担い手組織等の育成補助												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		負担金及び交付金	再生協議会補助金、農業生産組織指導強化事業補助金 等										1,482	
		旅費	会議出席のための旅費										87	
		需用費	印刷製本費、消耗品費、燃料費										430	
		役務費	郵送料、電信・電話料										671	
使用料及び賃借料		公用車賃借料										173		
関連事業	経営所得安定対策等推進事業、農業振興推進事業													

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	3,008	3,350	2,989	1,318	1,079				
	②補正予算	118	0							
	③流充用額			250						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越									
	次年度繰越									
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	一般財源	2,337	2,561	2,565	1,318	1,079				
	国支出金	0	0							
	府支出金	400	400	284						
	地方債	0	0							
	その他特財	389	389	390						
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	電柱占用料等		種類	農業使用料	実績金額	390	決算付属資料	8~10	頁
	特財名称	農業技術者会議活動事業		種類	府補助金	実績金額	284	決算付属資料	26	頁
人件費	0.64/0.50	0.48 / 0.48	0.31 / 0.08	0.31 / 0.08						
⑤概算人件費	6,370	5,040	2,680	2,680						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	9,496	8,390	5,919	3,998						
⑦執行額	3,019	2,829	2,843							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.6%	84.4%	87.8%	0.0%						

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	農産物年間生産数量	トン	458 / 520	450 / 520
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
	農産物年間生産者数(水田活用農家)	戸	755 / 1,000	721 / 1,000	527 / 1,000	/ 1,000	1,000
	単位あたりコスト		4.0	3.9	5.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生産農家の組織活動の育成助成を行うことで、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上を図る。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	生産者間の交流を図り、情報交換を活発にすることにより効率的な農業経営の構築に寄与する。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場や消費者などへ安全・安心な農産物の供給に寄与する。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		農業生産組織等の育成強化を図るために必要な施策である	
今後の課題及び方向性		今後においても、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上のため、本事業において、生産組織の育成強化を図る。 H31年度～ 課の事務費は『農業振興事務管理事業』に移行	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・令和元年度より事務的経費を農業振興事務管理事業へ移行 ・生産組織への補助については、令和元年度より運営補助を廃止し、活動補助に見直し済み。また、補助対象組織を見直した。 ・令和2年度においても、農村振興に重要な役割を担っている女性の活躍を支援するため、引き続き事業を実施していく。
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	農産物価格安定対策事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210218	決算付属資料	168	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	昭和61年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する												
	対象者	農業者数(農家基本台帳調査戸数)	対象者数	6,688	単位あたりコスト	0.5								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	京都府の農産物価格安定対策事業に取組むことにより、特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する												
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費						
	負担金補助及び交付金	資金造成にかかる負担金						1,907						
	普通旅費	京のブランド産品30周年記念式典に係る旅費						7						
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,103	1,839	1,613	1,903	1,765
	②補正予算					
	③流充用額	△ 1,041	0	307		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	一般財源	1,062	1,839	1,920	1,903	1,765
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.07/0	0.18 / 0	0.14 / 0.09	0.14 / 0.09	
⑤概算人件費	560	1,440	1,345	1,345		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,622	3,279	3,265	3,248		
⑦執行額	900	1,316	1,914			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	84.7%	71.6%	99.7%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
		価格安定加入品目の販売額(7品目)	百万円	157 / 176	199 / 176	143 / 220	/ 220	250
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
		資金造成品目	品	8 / 7	8 / 10	8 / 10	/ 10	15
	単位あたりコスト		112.5	164.5	239.3			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 特産作物の生産振興を図る観点から、一定以上価格が下がった時に市が一部を補てんすることは必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 農産物価格を一定範囲内にすることで安心して生産することができ、特産作物の生産振興を図る観点からも必要である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 農産物価格を一定範囲内にすることで安心して生産することができ、特産作物の振興のためには有効である
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補てんを行うことで農家が安心して生産でき、安定的な生産と農家所得の確保が図られている。平成29年の価格安定加入品目（5品目）の販売額も増加しており、特に万願寺とうがらしの栽培面積及び販売額が増加している。	
今後の課題及び方向性	本事業は市場価格の変動による農家所得の安定を図り、京ブランド野菜の生産拡大につなげる施策であり、農家が安心して生産することが出来るとともに、生産拡大と農家所得の確保が図られている。		

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	京のふるさと産品協会が主となり、京ブランド野菜の価格を維持する事業。府、農家、JA、市町村が定まった割合ごとに積立て、価格下落時に対応できるようにしている。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	畜産業等調査支援事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	畜産業費	会計	一般会計	事業コード	210236	決算付属資料	172	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	かつては「天田牛」の肥育が盛んだった当地域の畜産業が衰退の一途を辿り、現在殆ど繁殖農家だけになってしまっている現状の中、畜産農家の継続と所得向上をめざすため、本市の畜産農家の現状や意向について調査し、課題解決に向けた方策を検討する。また、このことで「肉のまち、福知山」へのアプローチを図る。																	
	対象者	畜産農家	対象者数	16	単位あたりコスト	130.8													
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()																	
	委託先・実施主体等																		
	事業概要	・畜産業調査チーム(京都府、福知山市、JA等)を設置し、畜産農家の現状調査を実施する。 ・本市の畜産業のあり方、方向性について助言をもらうアドバイザーを設置する。 [当初予算内訳] <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>事務費</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー謝礼</td> <td>700千円</td> </tr> <tr> <td>会場等使用料</td> <td>200千円</td> </tr> </table>													事務費	100千円	アドバイザー謝礼	700千円	会場等使用料
事務費	100千円																		
アドバイザー謝礼	700千円																		
会場等使用料	200千円																		
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費																
	旅費	研修旅費	7																
関連事業																			

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初		1,000	1,000		
	②補正予算					
	③流充用額		△ 107			
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	一般財源		893	1,000	0	
	国支出金					
	府支出金					
	地方債					
	その他特財					
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.15 / 0	0.15 / 0		
⑤概算人件費			1,200	1,200		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			2,093	2,200		
⑦執行額			7			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			0.8%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	肉のまちへアプローチできる事業の新設	事業			0 / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	農業者への意向調査	件			16 / 16	/ 16	16
	単位あたりコスト				0.4		
					/	/	
	単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	「福知山のブランド牛」等を生産し、畜産農家の所得向上につなげることができれば、「肉のまち 福知山」としての市の取組に繋がる施策となる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	既に肥育農家が殆どいなくなっている状態で、改めて「肥育」をしてもらうことが、畜舎の改修等かなりの費用負担が見込まれ、費用対効果として本当に所得向上に繋がるのか、慎重な調査・研究が必要。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	現在、輸入牛と比しても和牛が高価で取引されている。また、「神戸牛」や「近江牛」等の有名ブランドでなくても、地域ブランド牛としての一定の需要がある中、かつて「天田牛」というブランド牛が肥育されていた本市において、復活生産することができれば、畜産農家の所得向上につなげることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>畜産農家の意向を聞き取ったが、現状の経営費用や畜舎改修に対する補助金要望のみであった。「肉のまち」につながる新たな事業・・・例えば「天田牛の復活」に対しては関心を持ってもらえなかった。</p> <p>7月豪雨(西日本豪雨)のため、災害復旧事業に事務がシフトし、アドバイザー設置に至らなかった。</p>		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖農家の中に、「肥育」に取組んでもよいと後で申し出られた農家があったため、「福知山のブランド牛」として売り出せるかどうかについて、改めて検討が必要。 ・繁殖牛の「廃牛」について、一定期間再肥育し「経産牛」として売り出すことができないかどうかについて、現在の「廃牛」引き取り先等について、改めて調査が必要。 		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査で終了しており、改善については特になし ○1軒の畜産農家の協力で、市の畜産農家の所得向上や畜産農家の継続につながっていくのか判断する必要がある。市が方向性を定め、事業化し、畜産農家の継続に取り組むか、判断が必要。 ○本事業が広く市民のニーズがあるのか疑問である。本年度、アドバイザーの助言を踏まえて市としての結論を早急に出してもらいたい。 ○生産拠点を増やす、供給量を増やすことに、現実、市がどこまで深く関わられるのか疑問 ○また、肉のまちの振興にそれが必須か、冷静な判断も ○流通・消費面で肉のまちを盛り上げるアプローチに絞っても良いのでは？

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	茶業振興対策事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210239	決算付属資料	168	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	昭和55年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	茶業振興対策事業実施要領												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	被覆棚等の茶生産設備の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより茶業経営の安定を図り、本市の茶業振興を図る												
	対象者	市内茶生産農家	対象者数	16	単位あたりコスト	104.4								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	両丹茶品評会関連事業												
	事業概要	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図ることを目的に、集団茶園の造成や優良品種の新植・改植、土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施する。												
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)		項目	具体的な内容									H30経費		
		負担金補助及び交付金	市内の茶生産組織の製茶品質及び茶生産力の向上等を図る事業を支援									322		
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
配当予算	①当初	3,750	6,000	450	1,044	1,769					
	②補正予算	0	△ 6,000								
	③流充用額										
	④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越										
	次年度繰越										
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	一般財源	750	0	128	744	809					
	国支出金	0	0								
	府支出金	3,000	0	322	300	960					
	地方債	0	0								
	その他特財	0	0								
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	茶業振興対策事業		種類	府補助金		実績金額	322	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.15/0	0.03 / 0	0.14 / 0.04	0.14 / 0.04							
⑤概算人件費	240	240	1,220	1,220							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,990	240	1,670	2,264							
⑦執行額	2,245	0	322								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	59.9%		71.6%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標	
		荒茶生産金額	千円	60324	62,528	63,000	/	65,000	68,000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標	
		茶業振興対策事業	事業	1/1	0/1	1/1	/	1	1/1
		単位あたりコスト		2245.0	0.0	322.0			
		単位あたりコスト		/	/	/	/		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図るために必要
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	集団茶園の造成や優良品種の新植・改植、土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施することで、両丹茶の高い品質を維持する。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	被覆棚等の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につながっている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		茶の新植に対して補助を行なった。数年後の荒茶の生産量・生産額の増につながる取組となった。	
今後の課題及び方向性		両丹茶品評会に係る事業を統合し、今後より一層の茶業振興を図る。 (210219)両丹茶品評会関連事業を統合	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	優良品種の新植・改植、土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施することで、両丹茶の高い品質を維持する。
予算への 反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	経営所得安定対策等推進事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210255	決算付属資料	168	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成22年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	経営所得安定対策等推進事業実施要綱、福知山市地域農業再生協議会補助金交付要綱												
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国の経営所得安定対策事業を有効活用することにより、本市の農業の振興を図る												
	対象者	農家数(細目書配布農家数)	対象者数	6,305	単位あたりコスト	3.2								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	福知山市地域農業再生協議会												
	事業概要	福知山市地域農業再生協議会と連携し、経営所得安定対策事業の円滑な推進を図る。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		職員手当等	福知山市地域農業再生協議会担当職員の超過勤務手当										521	
旅費		制度説明会出席旅費										43		
需用費		消耗品費										4		
使用料及び賃借料		複写機使用料										101		
関連事業	負担金補助及び交付金 福知山市地域農業再生協議会補助金 8,208 農業振興推進事業、農業生産組織等指導強化事業													

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
配当予算	①当初	10,590	10,604	10,004	9,413	9,414					
	②補正予算										
	③流充額	0	0								
	④繰越額計	0	0	0	0	0					
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	前年度繰越										
	次年度繰越										
	一般財源	0	0	1,127	9,413	0					
	国支出金	0	0								
	府支出金	10,590	10,604	8,877		9,414					
	地方債	0	0								
その他特財	0	0									
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	経営所得安定対策等推進事業		種類	府補助金		実績金額	8,877	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
人件費	1.18/0	1.18 / 0	1.22 / 0.07	1.22 / 0.07							
⑤概算人件費	9,440	9,440	9,935	9,935							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	20,030	20,044	19,939	19,348							
⑦執行額	9,960	9,819	8,877								
執行率 (⑦/⑥×100)	94.1%	92.6%	88.7%	0.0%							

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
			実績/当初目標	実績/当初目標	実績/当初目標	実績/当初目標	
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	不作付け水田の面積	ha	663 / 650	689 / 650	702 / 650	/ 650	650
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	経営所得安定対策加入者数	人	2,593 / 3,000	2,477 / 3,000	798 / 1,200	/ 1,200	1,200
	単位あたりコスト		3.8	4.0	11.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国の施策である経営所得安定対策を本市において運営するために必要不可欠である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地域農業再生協議会に補助金支出する中で、現地確認作業の事務委託等事務の効率化を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市内の多くの農業者が加入し、30年度実績で約1.8億円の補償を受けている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	農業法人、集落営農組織、担い手を中心に経営所得安定対策を有効的に活用できている		
今後の課題及び方向性	平成29年度をもって主食用水稲への助成金が廃止され農家にとって厳しい状況となる中、需要に応じた作物の作付けによる農業経営を行い、かつ水田における主食用水稲以外の作付けに対する国による農家への助成を有効に活用し、本市の農業の発展を図る。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	29年度に水稲作付の配分調整が終了し、30年度からは需要に即した生産を促す取組方針に変更している。国、府が作成した作物ごとの需要予測を農家配布することで周知を行っている。農家戸数の減少から、申請者は減少する一途であるが、市としても需要のある作物に産地誘導できるようにしていく。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	稼げる農業応援事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費	会計	一般会計	事業コード	210453	決算付属資料	168	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市国際水準GAP認証取得支援補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	自ら「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業が魅力的な就業先の一つとなることを目指す。												
	対象者	農業者(農業基本台帳調査戸数)	対象者数	6,688	単位あたりコスト	1.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	(株)グッドテーブルズ、(株)ファイル二十一												
	事業概要	①ふくちやまのイエもん発掘事業 発掘審査会開催 農産物・加工品セミナーの開催 個別相談会の開催(商品のブラッシュアップ支援) 認定品の販路開拓支援 ②国際水準GAP認証取得支援事業 GAP研修会の開催 国際水準GAP認証の新規取得にかかる経費支援												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費				
		報償費	発掘審査会、セミナー等謝礼							556				
旅費、需用費		チラシ・ポスター作成、イエもんシール印刷							222					
役務費、使用料		応募産品運搬料、クリーニング代							23					
委託料		福知山の農産品発掘セレクション業務							2,439					
関連事業	産業支援事業、販路開拓支援事業													
負担金補助及び交付金	国際水準GAP認証取得支援補助金							100						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初			3,998	10,220	6,703				
	②補正予算									
	③流充用額			46						
	④繰越額計			0	0	0				
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	前年度繰越									
	次年度繰越									
	一般財源			2,525	8,476	3,703				
	国支出金									
	府支出金									
	地方債									
	その他特財			1,519	1,744	3,000				
	主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	稼げる農業応援事業 (みらい戦略一括交付金)	種類	府補助金	実績金額	1,519	決算付属資料	26	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.34 / 0	0.34 / 0					
⑤概算人件費			2,720	2,720						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			6,764	12,940						
⑦執行額			3,340							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			82.6%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
		農業所得が対前年度比5%UPLした認定者	人	/	/	/	3 / 4	/ 8
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標	
	イエもん認定品	品	/	/	4 / 2	/ 3	3	
	単位あたりコスト		-	-	835.0			
	GAP認証を取得する農業者	経営体	/	/	1 / 2	/ 2	3	
単位あたりコスト				100.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	農業で生計を立てるのが難しく、農業後継者が激減する中、経営の観点でやる気を持って稼げる農業に取組もうとする農業者に対して支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業を就業先の一つとして考える若者が増えることを目指すものであり、優先度が高い事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	審査員として関わってもらった専門家から、認定品のブラッシュアップだけでなく、かかわりのある方面への認定品の紹介もあり、市の販路拡大の取組以上の効果を得ている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	認定を受けた品について、前年度より所得が上がったものが多くあり、有効な取組である
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<input type="checkbox"/> ふくちやまのエエもん発掘事業 ・応募件数35件。その中から4品目を認定した。 ・審査員からの情報発信により、京阪神・首都圏のデパートやミシュランガイドに掲載されたレストランから問い合わせが相次ぎ、生産が追いつかない状況の物あり。 ・市の販路拡大の取組は次年度(H31年度)から、商談会への出品を予定		
	<input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 ・2経営体がGAP取得に向けたコンサル等による経営・管理の見直しを実施。内1経営体が年度内に認証取得。		
今後の課題及び方向性	<input type="checkbox"/> ふくちやまのエエもん発掘事業 ・市内で販売促進に繋がる展示・販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信が今後必要。 ・都市部での販路拡大を行なうための商談会について、どの商談会を選定するのが有効かの情報収集が必要。 ・認定品に対する需要が格段に増える中、生産体制に限界があり、これ以上の生産増が見込めなくなっている。 ・人件費を増やすコストとの関係から現状維持となる可能性あり。		
	<input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 ・GAP取得は直接商品の高価格化に直結するものではないことから、GAP認証について消費者の理解広げる必要有り。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <p>○トップランナーを活用した産業分野の牽引施策がいけないというわけではないが、どうやって最終的に施策分野全体へと波及させるかの具体的な流れのイメージや関連する個別施策などの組み換えや工夫がないと、本来税投入の必然・必要の薄い中上位経営者への支援に税を用いる結果になってしまう。</p> <p>○“ええもん”についても、「福知山らしさ」という部分の具体性に欠け、それを専門家の丸投げすることになっていないか。</p> <p>○今後販促支援などに移っていくとのことだが、本来事業者が負担すべき原価を税支援することには大きな問題もある。</p> <p>○目的に対しての手法がもっと効果的になる様、裾野に視野を広げるべきでは。</p> <p>○今年のロードマップを示すべき。</p>

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課					
	作成責任者	中島 美香					
	事業名	集落営農ビジネス支援事業					
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業振興費	会計 一般会計	事業コード 210464	決算付属資料 170 頁
	施策体系	施策コード 060104	施策名 農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する				
	開始年度	平成29年度					
	終了予定年度	平成30年度					
	関連計画等						
	根拠法令等	集落営農総合対策事業実施要領					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域資源をいかした地域ビジネスおこしと雇用の場の確保により持続可能な地域づくりを推進する。					
	対象者	集落営農組織	対象者数	1	単位あたりコスト	1,540.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	報恩寺筍生産グループ					
	事業概要	報恩寺筍生産グループが、集出荷施設を新設することに対する支援及び、さらなる経営強化のため販売袋の作成に対する支援を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
	負担金補助及び交付金	筍集出荷場施設整備・販売袋作成補助			84		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	0	100		
	②補正予算	0	2,535			
	③流充用額					
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	一般財源	0	0	0	0	0
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	2,535	100		
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	0.13 / 0	0.18 / 0	/		
⑤概算人件費	0	1,040	1,440			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	3,575	1,540			
⑦執行額	0	2,476	84			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	—	97.7%	84.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
		報恩寺筍グループ売上高	千円	/	/	11,320 / 11,418	6,691 / 9,225	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	補助金交付組織数	組織	/	/	1 / 1	1 / 1	/	0
	単位あたりコスト		—	/	2476.0	84.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	/	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	農業者が高齢化する中で、地域の農業を守る集落営農の経営を強化することは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	導入施設の利用状況や組織の経営内容を把握している
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		集落営農組織を支援することは、地域営農の維持・発展のために有効である	
今後の課題及び方向性		集落営農組織が今後も持続的に活動していくための支援が必要である。 H30年度事業終了	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○今後の支援については、産業支援センターに移して対応すべき →ビジネスの話は、民間ベースで ・補助実績の後追い把握は適切に</p> <p>○補助金を受けることで生じる事業者責任や将来リスク(事業者の問題)については、事前に丁寧な説明に努めること</p> <p>○平成30年度で終了しているのとくにないが、目標達成に向けて支援は続けられたい</p>

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R2年度実施予定なし。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農林業振興課												
	作成責任者	中島 美香												
	事業名	「スイーツのまち福知山」事業												
	会計情報	款	農林業費	項	林業費	目	林業振興費	会計	一般会計	事業コード	210228	決算付属資料	176	頁
	施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	スイーツフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市スイーツの森づくり支援事業補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	①丹波くりの生産振興とブランド化支援 ②「スイーツのまち」PRによる観光誘客の増加を図る									
	対象者	総農家数	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.5					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	◆栗の新植・改植にかかる補助金の交付 補助率 1ha以上：1/2、1ha未満1/4 ◆スイーツフェスティバル開催 スイーツフェスティバル実行委員会への補助金交付 ◆スイーツコンテストの開催 " → H31年度は市で直営開催 ※経過※平成25年度から、本市を「スイーツのまち」としてPRし観光誘客を図るため「スイーツフェスティバル」を開催してきた(観光担当課) ・平成18年度から、「丹波くり」に対し『特用林産物』の一つとして、苗の購入補助や苗の配布等の支援を、京都府と共に行なってきたが、「丹波くり」の生産量は、5年間で1/3に減少した。 ・もともと付加価値の高い「丹波くり」を、「スイーツ」と結びつけ、「丹波くり」を使ったオリジナルスイーツを開発し、「スイーツのまち」の発信と併せてPRすることで、高値による栗の出荷先を増やし生産拡大と栗生産者の所得向上を図ることとした。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)			具体的な内容					H30経費			
	負担金補助及び交付金		スイーツフェスティバル開催に関する補助金					1,000			
	"		スイーツコンテスト開催に関する補助金					1,038			
	"		丹波くりの生産振興のための新植・改植にかかる補助金					385			
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	1,200	1,000	3,538	6,038	6,638				
	②補正予算									
	③流用額	0	0							
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
予算と執行の状況 (財源内訳(決算値))	前年度繰越									
	次年度繰越									
	一般財源	0	0	2,654	0	0				
	国支出金	1,200	500	500						
	府支出金			384	4,000	4,500				
	地方債									
	その他特財		500		2,038	2,138				
	主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国支出金	実績金額	500	決算付属資料	18	頁
		特財名称	豊かな森を育てる府民税市町村交付金	種類	府支出金	実績金額	384	決算付属資料	26	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.24 / 0	0.29 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0				
⑤概算人件費		1,920	2,320	2,400	2,400					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		3,120	3,320	5,938	8,438					
⑦執行額		1,200	1,000	2,423						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	100.0%	68.5%	0.0%					

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
	栗の生産量(※)	t	/	/	/	/	/
観光入客数	千人		923 / 940	947 / 960	927 / 980	/	980
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R01	最終目標
	栗の新植面積	ha	/	/	2.49 / 2.00	/	4.00
	単位あたりコスト				973.1		
	スイーツフェスティバル参加者数	人		4,800 / 5,000	4,800 / 5,000	6,000 / 5,000	/
単位あたりコスト			0.3	0.2	0.4		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	京ブランドとして府も推奨する「丹波くり」は、既に付加価値がある農産物であるため、市のブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために必要である
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	生産量を一気に増やすため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率により補助することで、規模拡大を図ることができる
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	JAを通さず自家出荷される農家が増えている中、正確な生産量を掴みにくくなっている
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 初めての試みであったスイーツコンテストだったが、期待以上に多くの応募があった。 想定以上に新植への補助金申請が多く、目標としていた面積以上に新植が進んだ。 スイーツフェスティバル当日、福知山駅前や福知山城で開催された「森の京都 クルージングフェスタ」と連携し、巡回して楽しんでいただけるイベントとして取組んだため、来場者数が大きく目標を上回った。 		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> スイーツコンテストをスイーツフェスティバルと同時開催することで、栗スイーツを広くPRするとともに、フェスティバルへの誘客数増を図ろうとしたが、買い物客でこた返した中ではコンテストの様子に来場者に伝わらなかった。次年度は別会場での開催を考える。 スイーツコンテストで入賞した学生の部の作品を売り出してくれるスイーツ店等とのマッチングが進まなかった。31年度、社会福祉法人も含めながらマッチングをすすめる。 栗の植栽補助金の交付要綱の策定が遅れ、補助金についての広報期間が短かったため、予算一杯が使えなかった。31年度はJAを初めてとしてあらゆる機会に周知し、予算額一杯を補助することで栽培面積を増やしていく。 		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市の施策と実施内容が一致しないのでは？ ○目的は、栗の生産振興なのであれば、負担金や交付金を支出する際、生産振興が見込める出し方を再考することが必要なのでは？ ○事業、施策、目的の関連が弱いように思われる。すなわち、1次産品のブランド化・6次産業化の推進ターゲットが丹波くりのみなのか、事業目的が何故観光誘客の増加なのか、関連が弱く、評価シートにその記載もない。事業名、施策名、事業目的、事業概要の整理が必要ではないか？ ○スイーツ×栗＝観光入込客数という図式にそもそも飛躍が見受けられる。栗の生産量が減少しているという傾向に歯止めをかけること、流通を増やして需要につなげること、ひとつひとつを着実に進めていく必要がある。

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】